



令和6年度 三股町立梶山小学校 学校だより(No18)

# かじやま



かんだうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 毎日が楽しい 梶山小

R7.1.24(金) : 文責 校長

## ❖「自己決定力」の話(その1:「自己決定力」の重要性)❖



■「自己決定」とは、簡単に言えば、「自分のことは自分で決める」ということです。当たり前のことと言えばそうですが、親や友達の見解に流されて、大事な決定を他人に委ねてしまう子供たちも多いのではないかと思います。

昨年度、私は、「自己肯定力」について、この学校だよりで紹介しました。今回は、「自己決定力」というテーマで話を進めていきます。「自己決定力」とは、「主体的に物事を決める力」だと思います。私は、この「自己決定力」について、学級担任をしていた時も、我が子に対しても考えてきました。まず、今号では、「自己決定

力」がなぜ大事なのかを私なりに考えてみたいと思います。その1. その2. その3の3部の通信になっています。時間がある時に読んでみてください。

◆まず、「自己決定力」の重要さを、関係の本も参考にして考えてみました。以下の3点です。

- ①自己決定ができれば、自分が決めたことだから、責任をもって行動でき、人のせいにすることもない。
- ②自分の考えを自分で決めることで、自分自身のことを大事に思える。それは同時に、他者のことを大事に思えることにもつながる。
- ③社会問題を考える時に、「自分はこう思う。だから、こうしたい!」と、自分の意志や決断をしっかりと述べられる人は、一方で、「自分はこういう意見だけど、違う考え方もあるだろう。だから、自分以外の人の意見も尊重しなければいけない。」と思える。

◆自己決定は、学校生活の中で、色々な場面で行われています。梶山小でも、授業で発表する機会や、各行事で役員・学級代表を決める機会など、たくさんあります。しかも、本校は少人数の学校ですので、学校生活の様々な場面で、自己決定できる機会が多いように感じています。

梶山小の各教室を回って子供たちの様子を見ていますと、授業中に、「それは、〇〇です」「わたしは、〇〇だと思います」「ぼくは、〇〇系になりたいです」「わたしの3学期の目標は、〇〇です」などの自己決定が頻繁に行われています。昼休み時間の遊びでも、子供たちは、「ぼくも、仲間に入れて!」「いいよ、いっしょにやろう!」などの会話を聞くこともできます。

子供たちには、引き続き、数多くの自己決定をして、「自己決定力」を身に付けてほしいと思っています。



偉人の名言・格言

☆◇◆言っていることではなく、やっていることがその人の正体<あるお寺の掲示板>